

令和2年度 事業報告書

1 茶の生産・流通等の概況

(1) 令和2年産のかごしま茶は、一番茶は当初気象災害等の大きな被害もなく順調に生育していたが、4月が昨年を下回る気温で推移したことから、芽を追った生産となり、前年に比べ減収となった。また、在庫状況や新型コロナウイルス発生の影響等により、特に二番茶以降非常に厳しい相場展開となった。これらを反映し、荒茶生産量は、23,900トン(前年比85.4%)と前年を大幅に下回った。なお、栽培面積については、8,360ha(前年比99.5%)と前年並だった。

(2) 一方、新型コロナウイルスが終息しない中、県茶業振興対策事業についてはウェブ会議等の活用により全国関係団体との連携を図るとともに、かごしま茶通信の発行、生産履歴開示の推進に努めた。

かごしま茶ふれあい事業については、コロナ禍の中、百円茶屋、令和新茶まつりなどの人が集まるイベントを中止せざるを得なかったため、テレビ・ラジオ等マスメディアを活用した広報・PR活動の強化に努めた。

また、かごしま茶販売促進フェアの実施、かごしま茶輸出サプライチェーンの推進、日本茶大使の活用などを通じて、かごしま茶の知名度向上と国内外における販路拡大に努めた。

(3) さらに、県茶市場の円滑な運営と債権損失補償事業の適正な運営に努め、かごしま茶の円滑な取扱と流通拡大に努めた。

2 かごしま茶流通拡大対策事業(公益目的事業)

(1) 茶業振興対策事業

① 全国関係団体連携事業

ア 茶業中央会事業((公社)日本茶業中央会)

・令和2年度茶業功労者表彰委員会:10月5日(web会議)

本会からは永福喜作氏を推薦し、承認

・理事会(書面)、総会(書面)、六団体長会(web会議):10月5日、12月8日

組織体制の強化について検討

・日本茶業体制強化推進協議会、日本茶輸出促進協議会との連携

イ 全国お茶まつり等助成事業

・第74回全国お茶まつり

全国お茶まつり式典:(鹿児島県南九州市)中止

全国茶品評会:審査会:8月25日~28日 鹿児島市オロシティホール

普通煎茶10kgの部:産地賞(南九州市)、特別賞(6名受賞)

入札販売会:9月24~25日(鹿児島市オロシティホール)

ウ 茶業情勢に関する検討会:6月29日 ウェルビュー鹿児島

・本年産茶の生産・販売状況等に関する意見交換

② かがしま茶情報発信事業

ア かがしま茶通信：3回発行(6月,10月,1月)

イ 生産履歴開示の推進 (R3.2月末)

- ・開示点数 32,483点(令和元年度 41,778点)
- ・平均開示日数 6.0日(令和元年度 14.3日)

(2) かがしま茶ふれあい事業

茶業専門家の緑茶の普及活動や若者の緑茶とのふれあいを支援するほか、専門店・消費者へのかごしま茶の認知度向上などの活動を通して、日本の食文化における緑茶の普及定着と安全、安心でクリーンなかがしま茶の流通の拡大を図った。

① 消費者お茶ふれあい事業

ア 日本茶インストラクター協会支部活動支援

イ 茶業青年団活動支援

ウ 子ども達等のお茶とふれあい活動支援 (245校 10,384人)

エ かがしま百円茶屋の展開(10箇所) 中止

オ 新茶キャンペーンイベント

- ・鹿児島空港新茶キャンペーン 中止
- ・平令和新茶まつり(アミュ広場) 中止

カ お茶一杯の日等イベントの開催

- ・お茶一杯の日・かがしま2020：中止
- ・T-1グランプリ(県茶業青年団)：中止

キ かがしまお茶大使の委嘱

- ・5名~PR用お茶等の提供3回、お茶の機能性冊子配布1回

② かがしま茶知名度向上対策事業

ア 電照看板等の設置 3カ所(鹿児島中央駅,始良高速道路沿いユーミービジョン、天文館)

イ マスコミによるPR等

かがしま茶の消費拡大テレビCM(4月~2月 MBC、KKB、KYT、KTS)

かがしま茶の消費拡大テレビ番組の作成(KTS)

かがしま茶の消費拡大ラジオCM(4月~2月 MBC、KKB、KYT、KTS)

ウ かがしま茶宣伝資材の作成：のぼり、PR用リーフレット、パンフレット他

エ 県知事への新茶贈呈：中止

③ 販売協力店等対策事業

ア 求評会開催事業

- ・新茶販売会4月17日 静岡
- ・かがしま茶宣伝販売求評会：11月18日~20日 静岡・京都・福岡

イ 販売協力店等の強化

- ・県外販売促進フェア2回実施：(応募総数 春3,071通、秋2,178通 計5,249通)
販売促進資材の提供、「鹿児島の特産品」プレゼント

- ・かごしま茶応援キャンペーン2回実施（応募総数 春2,912 通、秋844 通計3,756 通）
「鹿児島の特産品」プレゼント
- ・茶産地ツアーの実施 中止
- ・販売協力店へ季節の草花提供 : 1月 梅の枝（さつま町・52店舗）

④ かごしまブランド確立事業

- ア クリーンなかごしま茶づくりの推進：県茶生産協会へ助成
- イ 茶のかごしまブランドの推進
かごしまブランド確立推進委員会（書面）（新たに9銘柄（5販売業者）認定）
- ウ かごしま標章茶の推進
・かごしま標章茶審査会：(3/10、9/15) 申請19点、指定14点
- エ SNS研究会の開催（2回）

⑤ かごしま茶輸出対策事業

- ア かごしま茶輸出対策実施本部等の開催
・かごしま茶輸出対策実施本部会：2月4日
・プロジェクト委員会：1月14日
- イかごしま茶輸出サプライチェーンの推進

《 サプライチェーンシステム実績 》

(単位：ha, t,)

区 分 登 録	登 録 (累計)			茶市場取扱実績				
	荒茶工場	生産者	茶園面積	一茶	二茶	三茶	他	計
平成28年度	127	187	367.9	21.8	12.4	7.7	7.6	49.4
平成29年度	129	194	384.1	14.6	6.4	6.2	6.4	33.6
平成30年度	131	196	369.1	12.0	7.5	4.6	1.2	25.3
令和元年度	133	200	370.7	10.1	7.3	0.4	0	17.2
令和2年度	133	202	372.8	2.0	0	0	0	2.0

ウ 残留農薬調査(日本茶輸出促進協議会との連携)

- ・実証圃の設置：4戸，設置面積53a
- ・検討会の開催：11月24日、1月22日
- ・現地検討会の開催：9/10、9/16、9/24、1/18、1/19

エ 海外におけるかごしま茶のPRと販路の開拓・確保

- ・茶商による商談活動の支援:海外商談等に要する経費の一部助成（2社）
- ・海外バイヤー招聘商談会：中止
- ・在米コンサルタントの活用（Kentree Co. Ltd.代表 溝呂木 賢）
- ・FDA施設登録(3社)
- ・情報の発信（英文HP等）
- ・日本茶大使を活用した「かごしま茶」の魅力発信6名
台湾、ドイツ(イタリア、フィンランドについてはコロナの影響で延期)

(3) 茶市場運営事業

新茶初取引会・献茶祭 中止

新春初取引会を開催するとともに、出荷者、買受人、卸売業者との連携のもと、茶市場運営委員会を開催し、円滑な茶市場運営と荒茶流通拡大を図った。

3 債権損失補償事業（収益事業会計）

県産茶の流通の円滑化と本県茶業の経営安定化を図るために、県内及び県外茶市場の卸売業者が買受人（県内 24 社、県外 133 社）間で行う取引によって生じた債権の損失を損失補償限度額内で補償する業務を行ったが、損失の発生もなく、取引を無事終了することができた。

4 管理事業（法人会計）

理事会 3 回、総会 2 回開催し、公益法人としての適正な管理運営に努めた。